

シンポジウム

広島サッカースタジアム建設予定地

発見の近代遺構を考える

—歴史的価値と保存・活用の検討—

日時 2021年10月10日(日) 13～17時
主催 芸備地方史研究会
共催 芸備友の会
後援 日本考古学協会
会場 オンライン(定員200名)
参加費 無料
申込 10月7日(木)までにEメールで
芸備地方史研究会までお申し込み
ください

基調報告 1

サッカースタジアム建設予定地発見の近代遺構と保存・活用について
広島大学名誉教授 藤野次史

基調報告 2

近現代史研究の立場から見た原爆遺跡と戦争遺跡
広島大学75年史編纂室准教授 石田雅春

基調報告 3

文化財保護行政からみた近代遺跡—とくに軍事関連遺跡の調査と評価—
広島大学客員教授 妹尾周三

基調報告 4

戦争の記憶と継承—近代日本の戦争遺跡研究

元四川外国語大学教授 菊池 実

討論会

コーディネーター 県立広島大学教授 鈴木康之

お問い合わせ 芸備地方史研究会

〒739-8522 広島県東広島市鏡山1-2-3 広島大学文学部日本史学研究室内
TEL/FAX: 082-424-6643 E-mail: geishi@hiroshima-u.ac.jp